

## 平成 28 年度 社会福祉法人おくま福寿会事業報告

### 1. 重点目標の消化状況

#### (1) 社会福祉法人制度改革に伴う定款等の変更業務

平成 29 年 4 月 1 日より、改正社会福祉法が施行されるに伴い、法人の定款変更並びに改正社会福祉法に準じた各種規定の新規策定、既存の規定の改正を実施しました。同時に、改正社会福祉法で新たに制度化された評議員選任・解任委員会を設置し、平成 29 年 3 月に委員会を開催し、平成 29 年 4 月 1 日からの新たな評議員の選任も完了し、3 月の理事会にて報告しました。

なお、この度の社会福祉法の改正に係る重要事項の一つである役員報酬に関する規定の策定については、実務に携わる役員（以下、「業務執行理事」という。）の設置予定がないこともあり、平成 28 年度内での策定は行っておりません。ただし、平成 29 年度における法人の復興計画に係る様々な業務が生じることから、平成 29 年度にすみやかに策定することとします。

加えて、改正福祉法に定められた重要課題としての、社会福祉充実計画の策定がありますが、県福祉監査課を通じて厚生労働省と協議を重ねてまいりましたところ、当法人は社会福祉充実計画の策定に関しては、現在の法人の財務状況（東電賠償金は残額に含めない）及び今後、復興拠点での本格的な再開に要する資金の確保並びに再開後の運営資金の確保等を様々な角度から検証して頂いた結果、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課より「策定は不要と思われる」との回答を県福祉監査課経由であったので、県への社会福祉充実計画の提出は不要となりました。ただし、社会福祉充実計画の策定の基本となる社会福祉充実残額に関する資料の提出は、法令上必要との指導も併せてあったことから、平成 28 年度決算終了後すみやかに提出することとします。

#### (2) 法人事業の短期・長期計画の策定

原発事故による避難から 6 年目を迎えた 28 年度においては、前年度にも増して大熊町及び大熊町社会福祉協議会との協議を重ね、町行政の情報収集に努め、平成 28 年 3 月に策定した平成 28 年度事業計画の「社会福祉法人おくま福寿会の復興計画構想」の「平成 28 年度から平成 30 年度における短期復興計画」と「平成 30 年度以降の長期復興計画」の短期、長期 2 本立ての計画のうち、短期計画の法人の方向性については、平成 29 年 3 月 28 日に開催された理事会、評議員会において会津仮設事業所のデイサービスは、平成 29 年 1 月 29 日付け、グループホームは平成 30 年 1 月 29 日をもって閉鎖し、大熊町の復興拠点での再開作業に移行する計画が承認されました。

なお、大熊町の第 2 次復興計画では、平成 31 年 4 月より役場機能を復興拠点に建設される新庁舎にて再開する旨の発表がされ、当法人の事業に関わる介護施設関連については現在のところデイケアセンター（仮称）の設置が示されました。新たな進展がないので、大熊町社会福祉協議会と連携し、今後、復興拠点での事業展

開が具体的な形で示されるよう強く働き掛けるとともに、同時に引き継ぎ情報収集と事業再開に向けた条件等の提示を行っていきます。

#### ①事業に係る福島県及び大熊町への届出事項関連

- ・平成 28 年 5 月 17 日付で、総合事業への移行・運営規程提出（大熊町）
- ・平成 28 年 12 月 16 日付で、定款変更認可申請（福島県・福祉監査課）
- ・平成 29 年 1 月 10 日付で、定款変更認可申請（福島県・福祉監査課・一部差替）
- ・平成 29 年 2 月 13 日付で、福島県知事より定款の認可
- ・平成 28 年 2 月 22 日付で、定款変更届（福島県・高齢福祉課、大熊町）
- ・平成 29 年 2 月 28 日付で、特養「休止」延長に係る変更届（福島県・高齢福祉課）
- ・平成 29 年 3 月 10 日付で、サービス体制強化加算変更届（GH・大熊町）

#### （3）事業資金の適切な管理

東電賠償金の請求が一旦終了し、その総額は 20 億円超となりましたが、会津若松市内で再開した 2 事業所（デイサービス、グループホーム）の収入は、平成 23 年 10 月再開後、年々減少し平成 28 年度決算における収支は、7,000 万円をこえる赤字となりました。再開後の累積赤字は 4 億 7,000 万円を超えるまでになり、その間の運営費不足を東電賠償金で補填しながら事業を継続してきました。

このような中、大熊町の復興計画が徐々に具体的に提示されると同時に当法人の復興計画についても具体的に策定すべき時期となり、平成 28 年度の予算において、将来の復興拠点における事業再開の資金確保を目的に、施設整備積立金として、2 金融機関に合計約 13 億 9,590 万円の積み立てを行いました。

#### （4）地域包括支援システム実施に伴う業務体制

地域包括支援システムへの移行に伴い、通所介護事業所（デイサービス）を地域密着型に変更し、平成 28 年 4 月 1 日から総合事業にいたしました。また、介護報酬請求業務において従来の介護度「支援」の方は総合事業での請求が行えるよう、居宅介護支援事業所と連携し移行処理を随時実施しました。

#### （5）法人職員のスキルアップと有資格者の確保

職員のスキルアップについては、職員不足による業務多忙の中、前年同等の参加ができました。なお、平成 28 年度においては、改正社会福祉法の施行に伴う事務職の研修並びに説明会へ参加しました。

○平成 28 年度の外部研修参加状況は以下のとおりです。

- ①デイサービス ····· 4 件（3 名）《前年 4 件・3 名》
- ②グループホーム ····· 4 件（3 名）《前年 5 件・4 名》
- ③事務関係 ····· 12 件（3 名）
- ④その他の ····· 1 件（1 名・理事研修）

介護職員、有資格者の確保に関しては、デイサービスにおいては、利用者の減少が著しく、介護職員数が一日の利用者数を上回る日も多々ある逆転現象が生じる一方で、グループホームにおいては入居者の介護度が上がり、介護職員にかかる負担が前年以上に大きくなるという状況となりました。同一敷地内の事業所間での職員に係る負担の差が大きくなつたことから、職員間で就業に対する意欲の低下や不満が生じ始めたため、平成 29 年 4 月 1 日付で異動予定のところ、3 月下旬に人事異動（正式な異動日は 4 月 1 日付）を行い、グループホームの人員増を施しました。なお、人事異動に際し、通所介護事業の継続に必要な介護職員数については、現在の利用者数に対し、基準を満たしております。

また、在籍職員の離職を防ぐための対策として、平成 29 年度より賃金額の底上げができるよう給与規定の見直しを実施しました。賃金アップは、在職職員のみならず、採用に係る新規職員の処遇にも直結する要因であり、求人票における処遇（初任給・賃金）にも反映されるようにいたしました。

加えて、職員確保の一つの方法として、定年延長を行い、在職職員がより長期的に勤務できるよう就業規則の改正を行いました。さらに、平成 29 年度内に介護職員の退職予定者がいるため、従来の求人方法を見直し、平成 28 年 2 月よりハローワークの他、人材派遣会社による人材紹介サービスの利用や退職自衛官の採用も視野に入れた求人方法も新たに導入し、会津仮設事業所の職員不足解消の他、今後、計画されている復興拠点における事業再開に向けた人材確保も視野に入れ、実施しました。一方、介護職員以上に採用が難しいグループホームにおける介護支援専門員の確保については、会津みどりホームとの委託契約を行い、グループホーム閉鎖までの期間、継続することとしました。

○平成 28 年度におけるサービス提供に向けた職員の配置状況は以下のとおりです。

※デイサービス、グループホームに関しては会津仮設事業所とする。

①デイサービスセンター 平成 29 年 3 月 31 日現在の職員配置 4 名

正職員 3 名（介護 2 名 看護 1 名）、臨時職員 1 名（介護 1 名）

・平成 28 年度内の雇用、退職、共に 0 名

※看護師 1 名（土日・祝日を除く毎日・1.5 時間／日）と委託契約継続中

②グループホーム 平成 29 年 3 月 31 日現在の職員配置 10 名

正職員 6 名（介護 6 名 看護 0 名）、臨時職員 4 名（介護 4 名）

・平成 28 年度内の雇用 1 名

・平成 28 年度内の退職 1 名（臨時・介護職員 1 名）

※介護支援専門員 1 名、看護職員 1 名（各週 1 回）と委託契約継続中

③事務関係 平成 29 年 3 月 31 日現在の職員配置 3 名

正職員 3 名（施設長、総務管理課 2 名）

・平成 28 年度内の雇用、退職、共に 0 名

## (6) 法人職員に対する法人情報の公表

今後の法人の方向性について不安を抱く職員は多く、特に地元会津地域の職員については、とりわけ大きな関心が寄せられておりましたが、今後の方向性が具体的に決定されたのが、平成 28 年 3 月 28 日開催の理事会、評議員会であったことから、年度内に職員に周知する機会がなく、年度明けの 4 月の第一月曜日に昇格・昇給辞令交付の場で、石田理事長より口頭で職員へ周知することとなりました。

また、平成 29 年 4 月より、利用者及びそのご家族並びに関係機関（県、大熊町、各介護支援事業所、他）に今後の法人運営について文書にて通知することとなりました。

## 2. サンライトおおくま拠点区分・法人本部の状況

## (1) 理事会の開催状況

回数	期日及び場所	提案議案等の概要	備考
1	平成 28 年 5 月 25 日（水） 会津若松市 ワシントンホ テル	<p>報告事項</p> <p>1 東京電力賠償金の請求・合意・入金状況について</p> <p>2 社会福祉法人おおくま福寿会定款の一部変更について</p> <p>3 法人職員の異動（退職、昇格、新規採用）について</p> <p>議事</p> <p>1 平成 27 年度社会福祉法人おおくま福寿会事業報告について</p> <p>2 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分法人本部サービス区分決算報告について</p> <p>3 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分特別養護老人ホームサービス区分決算報告について</p> <p>4 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分デイサービスサービス区分決算報告について</p> <p>5 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分在宅介護支援サービス区分決算報告について</p> <p>6 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分訪問介護・訪問入浴介護サービス区分決算報告について</p> <p>7 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分グループホームサービス区分決算報告について</p> <p>8 平成 27 年度会津仮設事業所拠点区分デイサ</p>	<p>原案通り承認</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>原案通り議決</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>



3	平成 29 年 2 月 23 日 (木) 会津若松市 ワシントンホ テル	報告事項	原案通り承認
		8 社会福祉法人おおくま福寿会定款改正に係る県知事の認可について 9 特別養護老人ホーム増設に係る借入金の完済について 10 施設整備積立金の実施について 11 理事長専決事項(職員への寒冷地手当の支給)について	
		議案	
		21 社会福祉法人おおくま福寿会評議員選任・解任委員の選任について	原案通り議決
		22 社会福祉法人おおくま福寿会評議員候補者の選任について	"
		23 社会福祉法人おおくま福寿会就業規則の改正(案)について	"
		24 社会福祉法人おおくま福寿会給与規則の改正(案)について	"
		25 社会福祉法人おおくま福寿会賃金支弁職員雇用等管理細則の改正(案)について	"
		26 社会福祉法人おおくま福寿会嘱託職員雇用等管理細則の改正(案)について	"
4	平成 29 年 3 月 28 日 (火) 会津若松市 ワシントンホ テル	報告事項	原案通り承認
		13 社会福祉法人おおくま福寿会評議員の選任について	
		議案	
		27 社会福祉法人おおくま福寿会役員等の費用弁償に関する規程の改正(案)について	原案通り議決
		28 社会福祉法人おおくま福寿会理事会運営規程(案)について	"
		29 社会福祉法人おおくま福寿会評議員会運営規程(案)について	"
		30 社会福祉法人おおくま福寿会監事監査規程(案)について	"
		31 平成 29 年度社会福祉法人おおくま福寿会事業計画(案)について	"

		32 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分法人本部サービス区分予算（案）について 33 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分特別養護老人ホームサービス区分予算（案）について 34 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分デイサービスサービス区分予算（案）について 35 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分グループホームサービス区分予算（案）について 36 平成 29 年度会津仮設事業所拠点区分デイサービスサービス区分予算（案）について 37 平成 29 年度会津仮設事業所拠点区分グループホームサービス区分予算（案）について 38 平成 28 年度サンライトおおくま拠点区分法人本部サービス区分補正予算第 2 号（案）について 39 平成 28 年度サンライトおおくま拠点区分特別養護老人ホームサービス区分補正予算第 2 号（案）について 40 平成 28 年度会津仮設事業所拠点区分デイサービスセンターサービス区分補正予算第 2 号（案）について 41 平成 28 年度会津仮設事業所拠点区分グループホームサービス区分補正予算第 2 号（案）について	原案通り議決 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
--	--	---	--

## (2) 評議員会の開催状況

回数	期日及び場所	提案議案等の概要	備考
1	平成 28 年 5 月 25 日（水） 会津若松市 ワシントンホテル	報告事項 1 東京電力賠償金の請求・合意・入金状況について 2 社会福祉法人おおくま福寿会定款の一部変更について 3 法人職員の異動（退職、昇格、新規採用）について	原案通り承認 〃 〃

	<p><b>議事</b></p> <p>1 平成 27 年度社会福祉法人おおくま福寿会事業報告について      2 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分法人本部サービス区分決算報告について      3 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分特別養護老人ホームサービス区分決算報告について      4 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分デイサービスサービス区分決算報告について      5 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分在宅介護支援サービス区分決算報告について      6 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分訪問介護・訪問入浴介護サービス区分決算報告について      7 平成 27 年度サンライトおおくま拠点区分グループホームサービス区分決算報告について      8 平成 27 年度会津仮設事業所拠点区分デイサービスサービス区分決算報告書類について      9 平成 27 年度会津仮設事業所拠点区分グループホームサービス区分決算報告書類について      10 平成 27 年度社会福祉法人おおくま福寿会会計決算書類について      11 社会福祉法人おおくま福寿会管理運営規程の一部改正（案）について      12 社会福祉法人おおくま福寿会就業規則の一部改正（案）について</p>	原案通り議決
2	<p>平成 28 年 11 月 25 日（金） 会津若松市 ワシントンホテル</p> <p><b>報告事項</b></p> <p>4 未収金の損金処理について      5 経理会計システムのリース契約について      6 法人施設の電磁記録（アーカイブ）作業について      7 大熊町復興計画に係る経過報告について</p> <p><b>議案</b></p> <p>13 社会福祉法人おおくま福寿会定款の改正（案）について</p>	原案通り承認 〃 〃 〃 原案通り議決

		14 社会福祉法人おおくま福寿会定款の改正(案) の変更決定に係る理事長への一任について 15 社会福祉法人おおくま福寿会評議員選任・解任委員会会則(案)について 16 平成 28 年度社会福祉法人おおくま福寿会サンライトおおくま拠点区分法人本部サービス区分補正予算第 1 号(案)について 17 平成 28 年度社会福祉法人おおくま福寿会サンライトおおくま拠点区分特別養護老人ホームサービス区分補正予算第 1 号(案)について 18 平成 28 年度社会福祉法人おおくま福寿会育児・介護休業等に関する細則の一部改正について 19 社会福祉法人おおくま福寿会内部管理体制基本方針(案)について 20 社会福祉法人おおくま福寿会施設整備積立金規程(案)について	原案通り議決
3	平成 29 年 2 月 23 日 (木) 会津若松市 ワシントンホ テル	<p>報告事項</p> 8 社会福祉法人おおくま福寿会定款改正に係る県知事の認可について 9 特別養護老人ホーム増設に係る借入金の完済について 10 施設整備積立金の実施について 11 理事長専決事項(職員への寒冷地手当の支給)について	原案通り承認

4	平成 29 年 3 月 28 日 (火) 会津若松市 ワシントンホ テル	報告事項	原案通り承認
		12 社会福祉法人おおくま福寿会評議員選任・解任委員会委員の選任について	
		13 社会福祉法人おおくま福寿会評議員の選任について	
議案			
		25 社会福祉法人おおくま福寿会役員等の費用弁償に関する規程の改正 (案) について	原案通り議決
		26 社会福祉法人おおくま福寿会理事会運営規程 (案) について	"
		27 社会福祉法人おおくま福寿会評議員会運営規程 (案) について	"
		28 社会福祉法人おおくま福寿会監事監査規程 (案) について	"
		29 平成 29 年度社会福祉法人おおくま福寿会事業計画 (案) について	"
		30 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分法人本部サービス区分予算 (案) について	"
		31 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分特別養護老人ホームサービス区分予算 (案) について	"
		32 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分デイサービスサービス区分予算 (案) について	"
		33 平成 29 年度サンライトおおくま拠点区分グループホームサービス区分予算 (案) について	"
		34 平成 29 年度会津仮設事業所拠点区分デイサービス区分予算 (案) について	"
		35 平成 29 年度会津仮設事業所拠点区分グループホームサービス区分予算 (案) について	"
		36 平成 28 年度サンライトおおくま拠点区分法人本部サービス区分補正予算第 2 号 (案) について	"
		37 平成 28 年度サンライトおおくま拠点区分特別養護老人ホームサービス区分補正予算第 2 号 (案) について	"

		38 平成 28 年度会津仮設事業所拠点区分デイサービスセンターサービス区分補正予算第 2 号 (案) について 39 平成 28 年度会津仮設事業所拠点区分グループホームサービス区分補正予算第 2 号 (案) について	原案通り議決 〃
--	--	---	-------------

## (3) 法人監査による監査

- ・平成 28 年 5 月 24 日(火) 会津若松市のデイサービスセンター相談室にて実施。  
(監事 2 名出席・理事長立ち会い)

## 3.サンライトおおくま拠点・特別養護老人ホームの状況

- ・震災及び原発事故により事業休止中(継続・休止延長手続済)

## ○ショートステイ(短期入所)の状況

- ・震災及び原発事故により事業休止中(継続)

## 4.サンライトおおくま拠点・デイサービスセンターの状況

- ・震災及び原発事故により事業休止中
- ・会津仮設事業所拠点区分にて事業継続中

## 5.サンライトおおくま拠点区分・グループホームの状況

- ・震災及び原発事故により事業休止中
- ・会津仮設事業所拠点区分にて事業継続中

## 6.会津仮設事業所拠点区分・デイサービス(通所介護)の状況

## (1) 会津仮設事業所拠点(会津若松市)・・・営業中

- ・営業日数・・・258 日(前年比 7 日増)  
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日・土日、年末年始等休業日除く)

## (2) 利用状況 延べ 1,160 人(1 営業日平均利用人数・4.51 人)

- ・前期(平成 28 年 4 月 1 日～9 月 30 日)・・・543 人(4.15 人/日)
- ・後期(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)・・・617 人(4.86 人/日)  
※上記人数のうち、総合事業(旧要支援) 延べ…269 人・全体の 23.18%
- ・体調不良・身体的状況による利用終了者・・・2 人
- ・転居による利用終了者 ..... 2 人
- ・新規利用者 ..... 5 人

### (3) 主な事業及び活動実績

- ①機能訓練指導員が不足のため、介護報酬加算分としては請求していませんが、看護師による個別機能訓練として、機器を使用し提供…延べ 891 名（要介護対象）  
 ・要支援者に対しても機能維持・向上を目的としてほぼ全員に提供しました。

### ②保健衛生・健康管理

- ・感染症予防として、手洗い・うがい（専用薬品使用）の励行の他、看護師による来所時のバイタル（体温・血圧・脈数）を測定し、適切な指導、処置を実施し、予防に努めました。
- ・始業前に職員による施設内の消毒（塩素・アルコール）を実施し、所内感染の防止と利用に最適な環境の提供に努めました。
- ・皮膚疾患感染予防のため、入浴時の全身状態観察等を実施し、予防に努めました。
- ・毎月 1 回、利用者個人の体力測定を実施し、個人の体力に合わせた効果的なリハビリ、機能訓練が提供できるよう努めました。
- ・転倒予防体操、嚥下体操を午前の余暇時間に実施し、昼食後にうがいを勧め、利用者の口腔ケアに努めました。

### ③通所介護の策定管理

- ・実態調査及び契約（新規）・・・5 件
- ・サービス担当者会議への出席・・・15 件

### ④各種行事

- ・利用者の減少に伴い、レクリエーション（各種ゲーム等）の実施に制約（ある程度の人数がないとゲームとして成立しない等）が生じることが多くなってきたことから、ビデオ鑑賞や外出（ドライブ）等を利用人数、利用者の身体状況及び天候に応じて実施しました。

なお、定期的に開催されていたボランティアによる各種行事については、避難されている町民=ボランティアの方々が多く、生活再建により会津地区から移転していくことと重なり、年々実施回数が減少し、従来規模の行事の開催については実施されておりません。

- |            |  |
|------------|--|
| ・誕生日会の開催   | 年 9 回（所内・利用者誕生月）   |
| ・市内・市外ドライブ | （当日の天候、利用者数に応じ、実施）<br>平成 28 年 7 月 25 日（職員宅菜園）<br>平成 28 年 9 月 16 日（職員宅菜園） |
| ・お花見       | 平成 28 年 4 月 14、15 日<br>（喜多方日中線・県立博物館・他）                                  |
| ・菜の花見学     | 平成 28 年 5 月 19、20、23 日（三ノ倉高原）  |
| ・あやめ見学     | 平成 28 年 6 月 20、21、22、28、30 日<br>（伊佐須美神社・あやめ苑）                            |

・夏祭り	平成 28 年 8 月 8~19 日 (所内・射的、金魚すくい、他)
・敬老会	平成 28 年 9 月 19、22、23 日 (所内・会津塗はし贈呈)
・紅葉見学	平成 28 年 10 月 24、25、27、28 日 11 月 1 日 (猪苗代・昭和の森)
・クリスマス会 ボランティア受入	平成 28 年 12 月 17、19、21 日 (所内)
交流学習・研修受入	平成 28 年 8 月 15 日 (職員の子女による・作文朗読)
・大熊幼稚園	平成 28 年 6 月 16 日 (所内)
・熊町小・大野小	平成 28 年 11 月 22 日 (所内) 平成 28 年 7 月 26 日 (所内・4 年生合唱) 平成 28 年 10 月 18 日 (所内・4 年生・アンケート交流) 平成 28 年 11 月 17 日 (所内・4 年生ゲーム交流)
・大熊中学校	平成 28 年 8 月 4 日 (教諭研修)

#### ⑤レクリエーション

- ・集団でのゲームや行事に合わせた飾り付けの創作活動等を週間カリキュラムにより実施しました。

#### ⑥総合避難訓練

- ・平成 28 年 7 月 21 日 会津若松消防署立会による総合避難訓練  
利用者及び松長仮設自治会長、商工会（お店屋さん）参加

#### ⑦事故報告書提出

- ・2 件（ヒヤリハット 0 件 事故報告書 2 件）

### 7. 会津仮設事業所拠点区分・グループホーム（認知症対応型共同生活介護）の状況

(1) 利用状況	延べ 2,529 名
(2) 入居／退居	なし
(3) 病院等受診	延べ 144 回（往診含む・前年比 1.42 倍）
(4) 入院日数	23 日（延べ 2 名）

#### （5）主な事業及び活動実績

- ①看護師不在のため、会津中央看護との契約により、定期的（週 1 回）に訪問し、入居者の健康状態を把握し、健康維持に努めましたが、入居者の高齢化が進み、それに比例するように受診回数も増加しました。  
ケアマネージャー不在のため、会津みどりホームとの委託契約により、週 1 回ケアマネージャー 1 名の派遣により、入居者のケアプランの作成を行いました。

- ②年 2 回、運営推進会議を開催し、利用者家族、包括支援センター担当者等からの意見をサービス提供プラン（計画）に反映し、サービス提供に努めました。さらに、

第三者による外部評価を実施し、質の高いサービス提供を目指しました。

(外部評価 平成 29 年 3 月 17 日実施)

### ③各種行事

- ・誕生日会 平成 28 年 6 月 30 日 (6 月生まれ)  
9 月 23 日 (9 月生まれ)  
11 月 10 日 (11 月生まれ)  
12 月 26 日 (12 月生まれ)、  
平成 28 年 1 月 13 日 (1 月生まれ)
- ・いちご狩り 平成 28 年 4 月 5 日 (北会津)
- ・柏餅作り 平成 28 年 5 月 6 日 (所内)
- ・バーベキュー 平成 28 年 5 月 10 日 (悪天候のため所内)
- ・サクランボ狩り 平成 28 年 6 月 22 日 (北会津・外食)
- ・スイカ割り 平成 28 年 7 月 25 日 (駐車場・所内でそうめん、天ぷら)
- ・水族館見学 平成 28 年 8 月 24 日 (猪苗代・カワセミ水族館)
- ・ぶどう狩りと外食 平成 28 年 9 月 5 日 (坂下)
- ・おはぎ作り 平成 28 年 9 月 22 日 (所内)
- ・ふるさと祭り見学 平成 28 年 10 月 8 日 (松長近隣公園仮設・駐車場)
- ・紅葉見学 平成 28 年 10 月 12 日 (裏磐梯・五色沼)
- ・外出、ドライブ 平成 28 年 11 月 18 日 (喜多方・長床熊野神社参拝)
- ・クリスマス、忘年会 平成 28 年 12 月 17 日 (所内)
- ・団子差し 平成 29 年 1 月 14、16 日 (所内・汁粉)
- ・節分 平成 29 年 2 月 3 日 (所内)

### ボランティア受入

- ・マッサージボランティア 平成 28 年 5 月 1 日 (京都・マッサージ施行)
- ・理容ボランティア 平成 28 年 8 月 4 日 (田澤理容店・全員散髪)
- ・理容ボランティア 平成 28 年 10 月 21 日 (田澤理容店・全員散髪)
- ・理容ボランティア 平成 28 年 12 月 12 日 (田澤理容店・全員散髪)
- ・理容ボランティア 平成 29 年 3 月 10 日 (田澤理容店・全員散髪)

### ④避難訓練

- ・夜間想定避難訓練 毎月 1 回実施 (総合防災訓練月は除く)
- ・総合防災訓練 平成 28 年 7 月 21 日 (会津若松消防署立会、入居者及び  
仮設自治会、お店屋さん協力)

### ⑤運営推進会議

- 平成 28 年 5 月 31 日
- 平成 28 年 12 月 17 日

### ⑥課内会議

- 毎月 1 回実施

## ⑦内部研修

平成 28 年 5 月 10 日 (食中毒について)  
 平成 28 年 6 月 22 日 (認知症ケアについて)  
 平成 28 年 8 月 24 日 (入浴ケアについて)  
 平成 28 年 12 月 17 日 (糖尿病について)  
 平成 29 年 1 月 30 日 (誤嚥について)  
 平成 29 年 2 月 28 日 (排泄介助について)  
 平成 29 年 3 月 22 日 (※BPSD について)  
 ※認知症により生じる行動・心理的な症状 (暴言・暴力等)

## ⑧事故報告書提出

- ・ 11 件 (ヒヤリハット 5 件 事故報告書 6 件)

## (6) 共同生活支援の状況

## ① 日常生活

・朝の日課として、自室やリビングの清掃を職員と共に実施、朝食後当日の天候及び利用者の体調に応じて、仮設敷地内の散策を職員同行で行ってきましたが、年度後半より利用者の介護度が上がり同時に BPSD が顕著に現れた利用者もいることから、事故防止のため散策を制限、中止せざるを得ない状況となりました。

利用者の冬期の身体機能の低下防止として室内においてリハビリ用機器を使用し、対応いたしましたが、天候が穏やかになった年度末においても、従来のような散策ができる状況ではないため、今後、入居者の運動機能の低下だけでなく、室内で過ごす時間が多くなることによる精神的なストレス、閉塞感の発生等、利用者への対応に対しておおきな不安を残すことになりました。

- ・居室に関しては、利用者の家族の写真や手作りの品等、自宅環境に近づけるよう努め、安心して生活を営める環境作りに配慮しました。しかしながら、建物全体の老朽化は避けられず、利用者の安全確保を優先し、部分的な補修を実施しました。
- ・食料品の購入については、原則として月、水、金曜日の週 3 回、公用車を利用して職員同伴で実施、食事のメニュー作りに参画できる機会を設けるようにしました。
- ・食事の準備については、利用者の身体状況も考慮しながら、共同で行うように努め、洗濯等は女性入居者中心で実施してきましたが、利用者全体の介護度の上昇に比例して共同作業に参加できる機会が減少しました。

## ②住民交流

・住民との交流の場については、できる限り仮設住宅住民との交流の機会を設定し、入居者の身体状況、希望も考慮しながら自治会主催の行事や催しに参加の機会を設けるように努めてきましたが、生活再建に伴う仮設住宅住民の転居が進み、同時に自治体主催の行事も減少し、平成 28 年度においては参加回数が「0」となり、今後、事業所周辺で開催される大熊町のふるさと祭りや大熊町の児童の交流以外で参加できる行事はありませんでした。

### ③防災対策

- ・月 1 回、夜間想定避難訓練の実施、年 1 回以上の総合避難訓練（デイサービス・自治会・仮設住民参加）を実施し、不測の事態に対応できるようにいたしました。

しかし、事業所周辺の仮設住民の減少は、夜間の防災対策においても見直しが必要とされる状況となりました。

従来であれば、災害の夜間発生時において、仮設住民の協力が期待できましたが、事業所近辺の住民は移転により居住しておらず、残された住民の方たちも事業所から離れた仮設住宅の入居者が多く、さらに住民のほとんどの方が高齢者のため、万一の事態においては、夜勤職員 1 名で利用者全員の安全を確保しなければならない状況になりました。なお、夜間の突発的な事態の応援のため、近隣職員が駆けつけられるよう当番制で待機する体制をとっています。

災害発生時の備蓄品（食糧品・飲料水等）については、防災担当を通じて適宜、使用期限、数量等の管理を実施して、災害発生時には十分対応できる量を確保しています。